

第 585 回：論文やレポートの書き方について（2）（DM）

みなさんこんにちは。LA 毎週月曜 12:00~15:00 担当、博士課程 2 年の DM です。

今回は、ウンベルト・エーコの著書『論文作法』を紹介すると共に、論文やレポートに取り掛かる前に必要な作業についてお伝えしたいと思います。

前回の LA 通信（第 583 回）で申し上げました通り、論文やレポートの製作は問題設定からはじまります。論文の書き方といえば、大体このあたりから説明がはじまるものです。

ですが、何の前提もなしに問題が見つかるはずありません。既に気になるテーマがあればいいのですが、そうでない場合が大半です。

だとすれば、何かしら文献や作品を読んで、テーマや問題設定以前に、自分が何に関心が向いているのかを知っていなければなりません。この作業が必要なのです。

そこで役に立つのは、文献や作品を読んだ後に、何らかの題材やキーワードについて、簡単な文章にまとめることができるか、試しに書いてみることです。

文章にまとめることができるということは、自分がどこに関心を向けているのか、見当がついているということでもあります。自分ではよく分からないものに関心が向けられていたとしても、「ここが分からない」という場所を言葉で特定できなければ、その先に進むのは難しいでしょう。

たとえば、この連載は論文でもレポートでもありませんが、ウンベルト・エーコの『論文作法』を大いに活用していこうとしている

以上、『論文作法』が私にとってどういう本で、その著者としてのウンベルト・エーコとは何者なのかを、書き手である私自身が特定できなければなりません。そうでなければ、自信を持って活用するのは難しいはずです。

ならば、実際に書いてみる他ありません。すると、このようになりました（文中の情報は、全て参考文献に記載されてあります）：

ウンベルト・エーコ（1932-2016）は、イタリア出身の学者である。初めて書いた小説『薔薇の名前』（1980）が世界的にヒットしたため、小説家としての経歴の方が有名だが、元々は 1954 年にトマス・アクィナスの論文で学位を修得した美学の学者である。トリノ大学を卒業してからは、テレビ局や出版社に勤めながら、トリノ大学などで美学講義を担当した。同時に批評活動も活発に行い、『開かれた作品』（1962）などの著作を多数発表している。記号論の学者としても有名で、大学で記号論の講座を担当した世界初の教授でもある。

『論文作法』（1977）は、既に美学者・批評家・記号学者として確たる業績を収めていたウンベルト・エーコが 45 歳の時に発表した著作であり、卒業（学位）論文について、「一定の書式に則り、(……)いかなる手順を踏むべきか」を考察した著作である（エコ 1994: xiii）。本人も述べているように、「この本は相当広汎に流布するところと」なり（エコ 1994: v）、日本語を含め、十七ヶ国語に翻訳されている。

多分、これを書くまでにも、私はこれと似たようなことを頭の中で考えていたのだと思います。ですが、それを自分が考えている

第 585 回：論文やレポートの書き方について（2）（DM）

と確信することができるのは、この文章を実際に書いてしまったからです。

この文章に従えば、私は、ウンベルト・エーコが「卒業（学位）論文について「一定の書式に則り、(……) いかなる手順を踏むべきか」を考察」しているから『論文作法』に関心を持っている、ということになります。書いたからそれがよく分かるのです。

ここで紹介した方法はほんの一例です。自分に扱えるテーマや問題を知るためにも、まずは、ある程度は自分の関心を把握しておく必要がある、ということをお伝えしました。何の関心もない場合でも、妥協点を見つけていけば、そこから作成へと進んでいくことができるのです。

今回の LA 通信はここまでです。次回は、テーマと問題について説明していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

Umberto Eco How to write a thesis (Umberto Eco ; translated by Caterina Mongiat Farina and Geoff Farina). Cambridge: MIT Press.

参考文献

池上, 嘉彦 (1980) 「訳者解説 (2)」『記号論 II』(U・エーコ ; 池上嘉彦訳) 岩波書店

エコ, ウンベルト (1991) 『論文作法』(谷口勇訳) 而立書房

篠原, 資明 (1984) 「訳者あとがき」『開かれた作品』(ウンベルト・エーコ ; 篠原資明, 和田忠彦訳) 青土社

谷崎, 勇 (1991) 「訳者あとがき」『論文作法』(ウンベルト・エコ ; 谷口勇訳) 而立書房

和田, 忠彦 (2021) 「テレビから記号へ」ウンベルト・エーコ『ウンベルト・エーコのテレビ論集成』(ウンベルト・エーコ ; 和田忠彦監訳) 河出書房新社

Francesco, Erspamer (2015) Foreword //